

学習状況調査の推移、ならびに本年度の分析と取組

(平成19年～平成21年)

1 「基礎基本学習定着状況調査」平均通過率(第5学年)

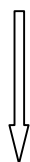
	国 語		
	県	市	本校
平成19年	64.2	63.7	63.2
平成20年	67.4	66.4	69.6
平成21年	75.0	74.0	78.1

	算 数		
	県	市	本校
平成19年	75.6	75.8	79.1
平成20年	76.1	75.8	76.5
平成21年	79.8	78.4	79.4

国語科

分析

- ・「聞くこと」「書くこと」「言語事項」は県・市を上回る通過率であり、概ね定着している。
- ・「読むこと」の中で、場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読み取ることが十分できていない。
- ・「聞くこと」の中でも、話の要点をつかんで正しく聞き取ることに課題が見られた。



改善する指導内容・方法

1. 読みの力を高めていくために
 - ①ワークシートを活用して、明確に読み取る学習を進めていく。
 - ②書き込みを通して叙述に即した個々の読み取りの力を高めていく。
2. 書く力を高めていくために
資料等から読み取ったことを明確にして文章で表す学習活動を仕組んでいく。

算数科

分析

- ・「数と計算」「量と測定」は県・市を上回る通過率である。
- ・「数量関係」の中では、伴って変わる2つの数量の関係を見つけることに課題が見られた。
- ・「図形」では、立方体の頂点の数や正三角形の定義についての理解が十分にできていない。



改善する指導内容・方法

1. T・T、習熟別などの少人数指導を取り入れ、個に応じた指導をさらに展開していく。
2. 具体物や視覚的な教具を多く取り入れ楽しみながら意欲的に学習できるようにしていく。

2 「全国学力状況調査」平均通過率(第6学年)

国語科

国語(A)(主として知識に関する問題)

	全国	県	政令市	市	本校
平成19年	81.7	83.3	82.2	82.8	83.9
平成20年	65.4	67.8	66.5	67.3	66.4
平成21年	69.9	72.9	70.5	71.9	71.4

国語(B)(主として活用に関する問題)

	全国	県	政令市	市	本校
平成19年	62.0	65.0	64.0	65.0	70.0
平成20年	50.5	53.3	52.1	52.8	53.7
平成21年	50.5	53.8	52.1	53.2	55.4

分析

○「知識」「活用」とともに概ね全国平均を上回り、定着していると言える。特に、「活用」面で県・市ともに平均を上回っている。

○「読むこと」「聞くこと」の領域では、全国・県平均を上回っているが、「書くこと」の領域では県平均を下回っているため、本校の研究主題として取り組んでいる。

○「知識」の「言語事項」の領域が、若干市の平均を下回っている。

主な課題

- ① 実験報告文を書いたり、グラフなどの資料をもとに分析したりする力が弱い。
- ② 内容を的確に理解し、自分の言葉で書き換えたり要約したりする力が弱い



解決に向けた具体的実践

- ① 結果をまとめたりするなど、「書く」場面を多く設定していく。
- ② 国語科の説明文の授業で、「要約文」の書き方を学習し、様々な学習場面で経験を重ねていく。
- ③ 内容を的確に理解していくための取組として、物語文、説明文の読みの力を高めるため音読・書き込み・ワークシートの活用などを行う。

算数科

算数(A)(主として知識に関する問題)

	全国	県	政令市	市	本校
平成19年	82.1	84.7	82.6	84.2	85.8
平成20年	72.2	74.3	72.8	73.9	71.1
平成21年	78.7	81.3	79.3	80.7	79.7

分析

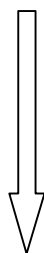
- 「知識」「活用」とも概ね全国平均を上回り、定着していると言える。
- 特に「知識」の数量関係は、全国・市を大きく上回り、力を発揮している。
- 「知識」の「数と計算」の領域は全国・市の平均を下回っており、まだまだ基礎・基本の定着が十分とは言えない。

算数(B)(主として活用に関する問題)

	全国	県	政令市	市	本校
平成19年	63.6	65.0	64.3	64.3	67.9
平成20年	51.6	53.6	53.4	53.4	52.7
平成21年	54.8	56.6	56.7	56.7	58.3

主な課題

- ① 「数と計算」を中心とした基礎・基本となる力が、十分に定着していない。また、選択式での誤答が多い。特に数の相対的な大きさなど、数についての理解が不十分である。
- ② 問題解決のための方法を考え、それを記述して説明することができにくい。



解決に向けた具体的実践

- ① 学習内容の定着を図るために、授業や家庭学習におけるドリル学習を充実させる。
- ② 課題解決学習を設定し、様々な方法で問題を解決したり、自分の考えを表現したりする活動を授業の中に多く取り入れる。
- ③ 算数的活動を授業に取り入れ、算数の知識をもとに発展的に思考したり、分かりやすい授業になるよう改善を行ったりする。